

近畿圏広域地方計画スケルトン（案）

平成 20 年 3 月

近畿圏の特徴と課題

近畿圏の目指す姿

- (1) 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域
- (2) 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核
- (3) アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点
- (4) 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域
- (5) 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域
- (6) 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域
- (7) 暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域

目指す姿を実現するための戦略

- (1) 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域
 - 「本物」を産み育む地域づくり
 - 歴史・文化資産等の保全・継承・活用
 - 広域・国際観光圏域の形成
- (2) 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核
 - 関西全体での総合的な経済力の向上
 - 情報発信力の強化
 - 「文化首都」の推進
 - 隣接する圏域との連携強化
 - 首都圏のバックアップ機能の確立
- (3) アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点
 - 次世代産業の育成
 - 産業拠点間、産業と大学間の連携

- 大阪湾バイエリアの機能強化と再配置
- アジア・ゲートウェイを担う陸海空の総合的な物流機能の強化
- 創造性豊かな人材の育成・交流拠点の形成

(4) 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

- 地球温暖化対策
- 都市環境の改善
- 循環型社会の構築
- 健全な流域圏と生態系の管理
- 自然との共生の推進
- 環境技術での世界貢献
- 総合的な土砂管理の取組の推進

(5) 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域

- 都市と自然の魅力を同時に享受できる圏域
- 大都市におけるビジネス機能や生活機能の中核的役割の確保
- 地方都市における地域の拠点としての機能強化
- 農山漁村における多面的機能の保持と地域活性化
- 地域資源を活用した地域産業の形成・強化
- 過疎地域における集落の維持・再生

(6) 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域

- どこにいても医療・福祉等基本的な生活サービスを享受できる体制の整備
- ユニバーサルデザインの社会空間の形成
- 地域コミュニティの形成・維持・再生と安全・安心まちづくりの支援

(7) 暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域

- 防災・減災対策の推進
- アジア・太平洋地域の国際防災拠点の形成

具体的な取組

※本資料は、近畿圏広域計画検討会議等における検討状況を整理したものであり、今後の追加・変更がありうるもの